

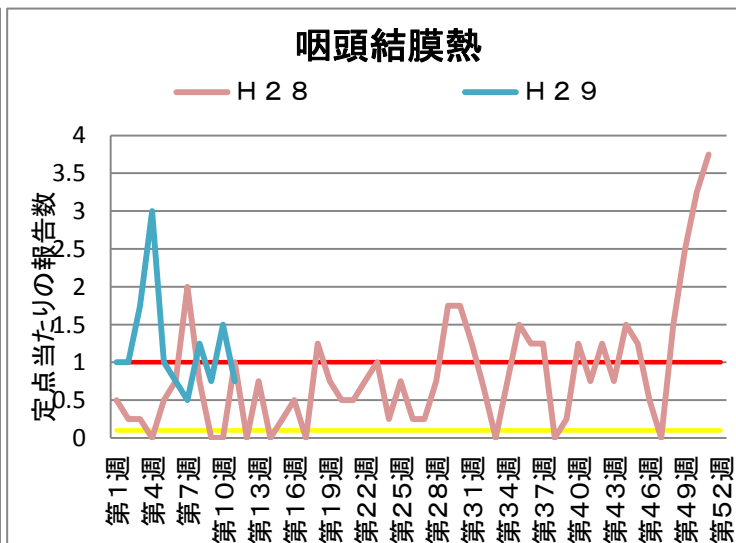
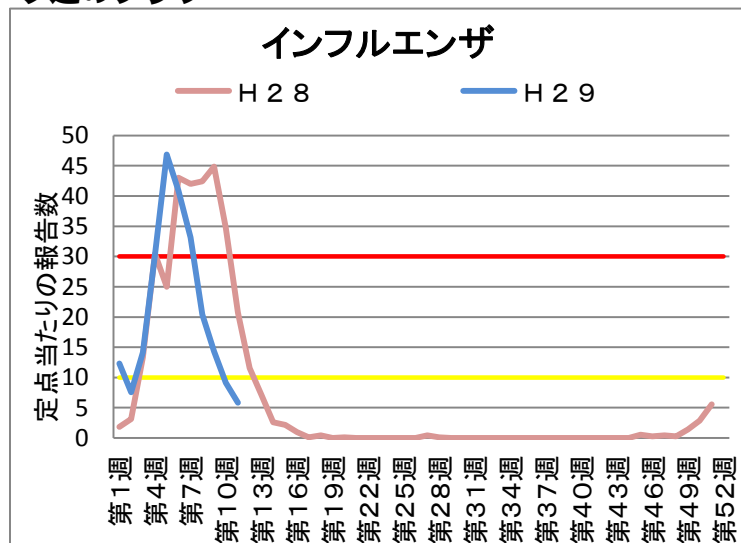
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 11 週 平成29年3月13日 ~ 平成29年3月19日

今週のコメント

○今年第1~9週(1/1~3/5)に、国内で診断された麻しん症例数は44例にのぼっています(前年同時期は2例)。推定感染地域は国内が35例、国外が9例(インドネシア、ネパール、ミャンマー、タイ、ニュージーランド、ベトナム、ガボン)と報告されています。京都府内においても、第10週に麻しんの報告が1例みられています。
○麻しんは感染力が強く、特にワクチン接種歴がない場合、年齢にかかわらず、命に関わる重篤な感染症です。麻しんの感染拡大防止のためには、麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)の2回の定期接種の徹底が大切です。
○定期接種の対象は、1歳(第1期)と小学校入学前1年間(第2期)です。2017年春に小学校に入学するお子さんは、定期接種として受けられるのは2017年3月31日までです。受け忘れがないようにしましょう。
○海外に行かれる方は、ワクチン接種歴等を確認の上、必要に応じた渡航前のワクチン接種が推奨されています。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	5.86	手足口病	-
RSウイルス感染症	0.5	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	0.75	突発性発しん	0.5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	百日咳	-
感染性胃腸炎	5.75	ヘルパンギーナ	-
水痘	0.75	流行性耳下腺炎	-

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

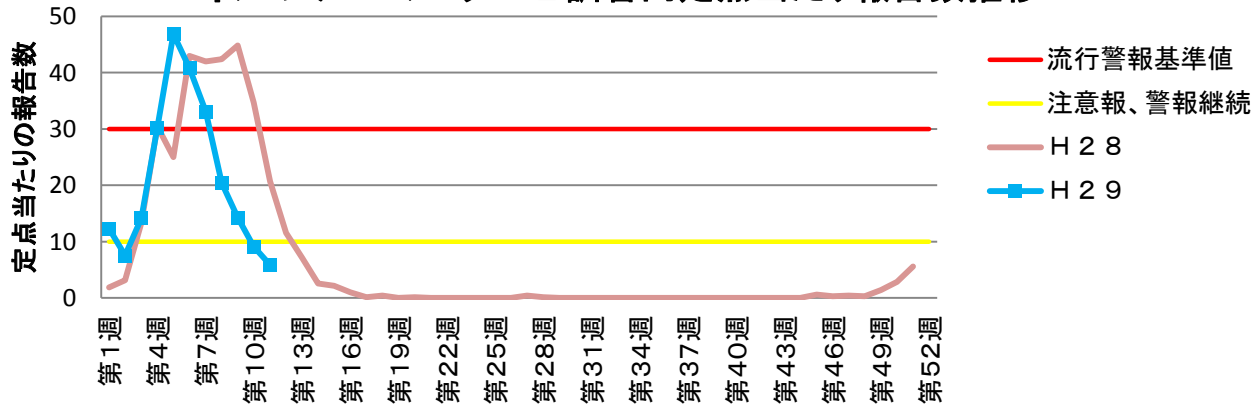
報告週対応表

警報・注意報基準値の説明

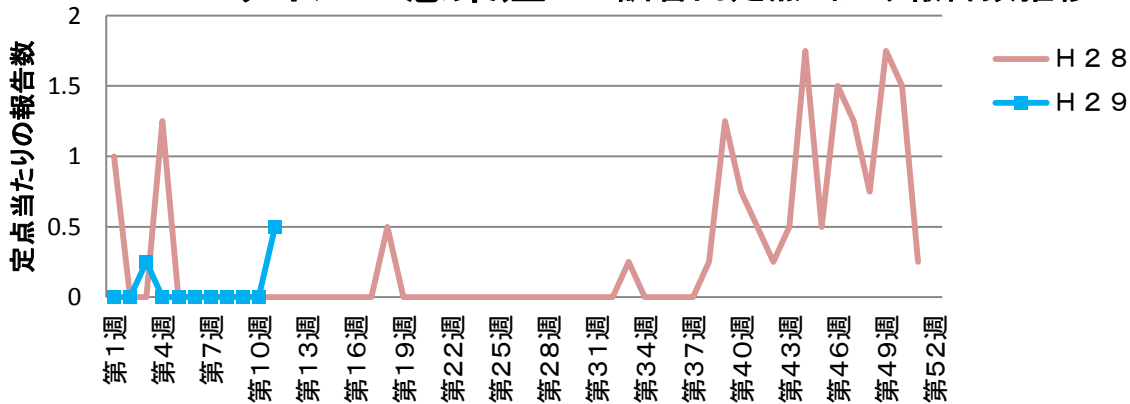
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

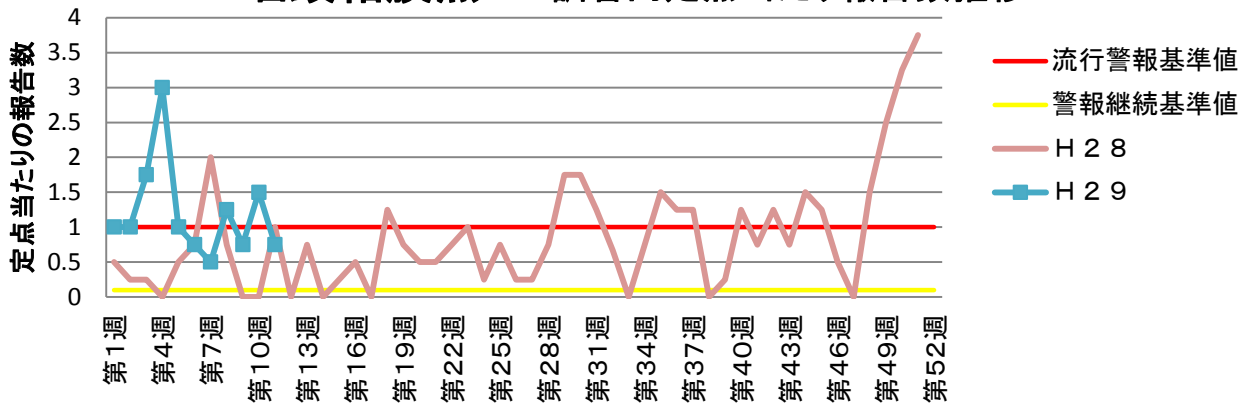
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



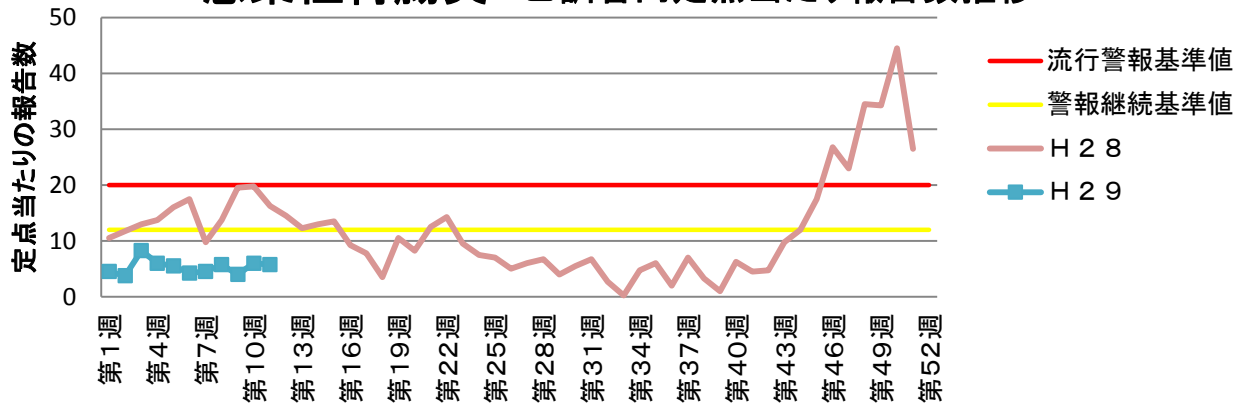
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



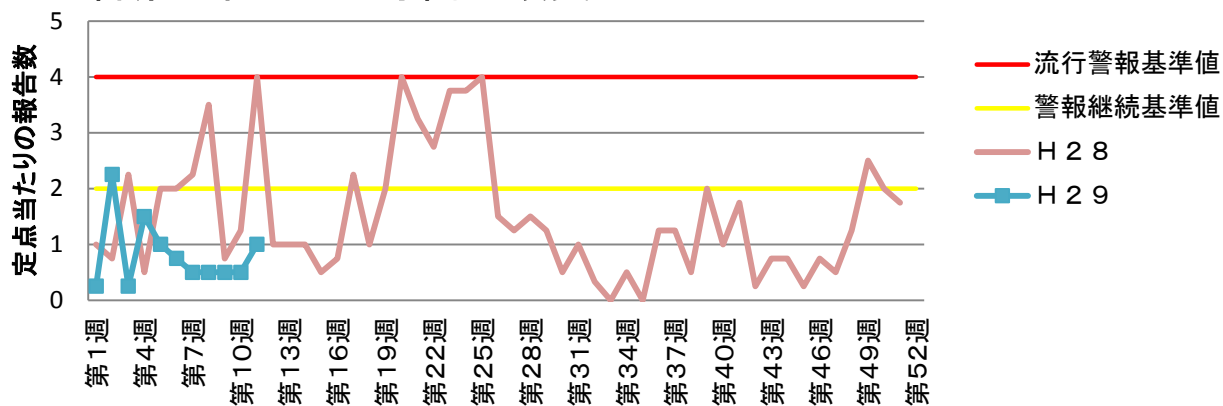
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



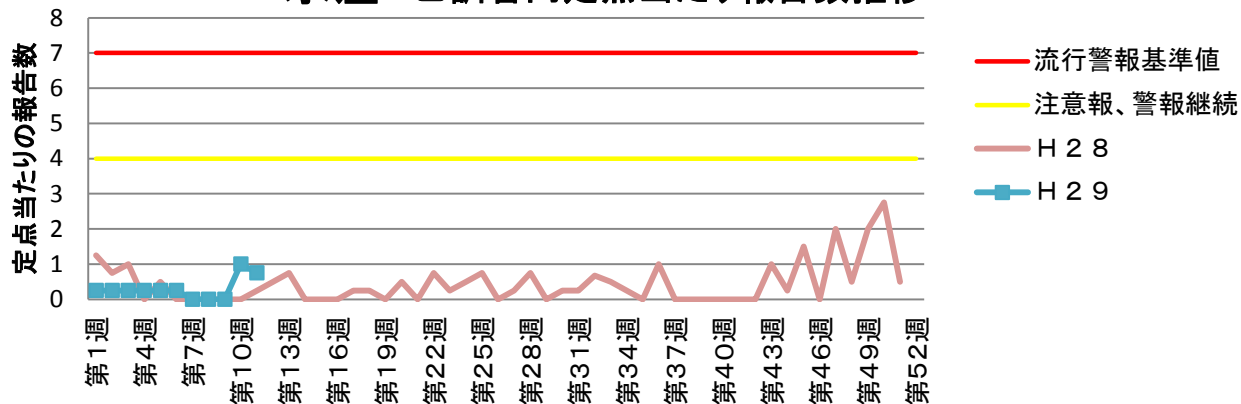
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



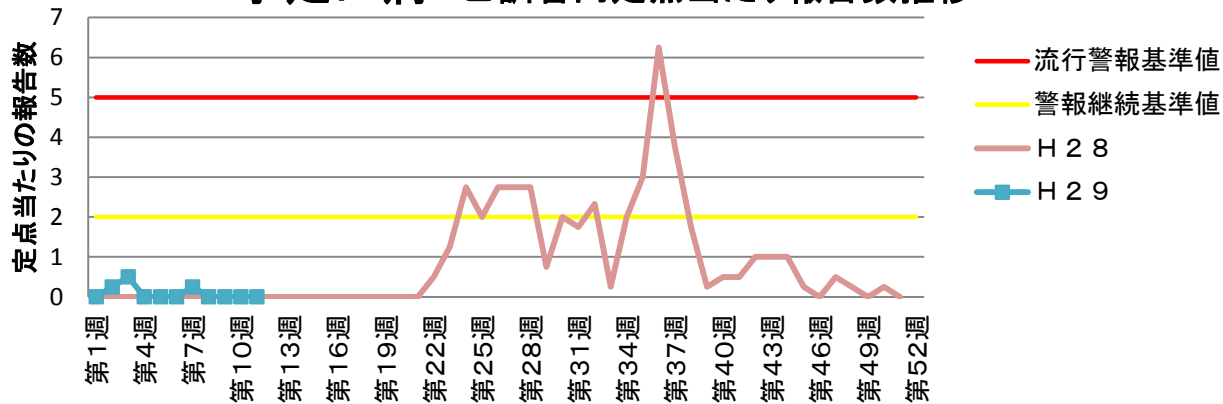
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



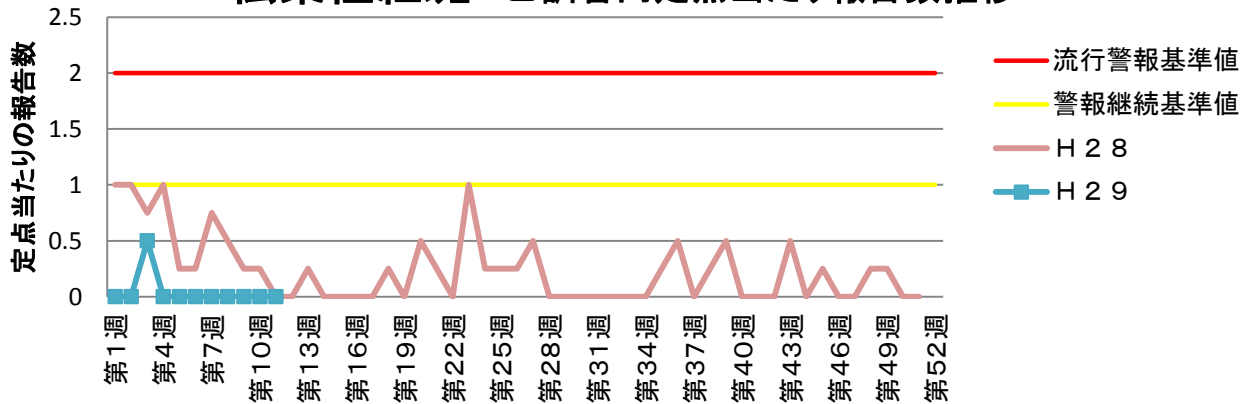
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



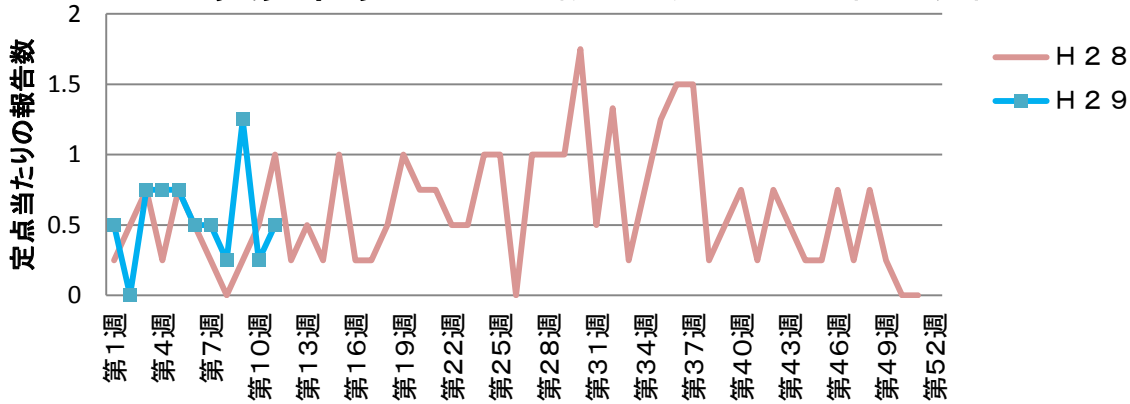
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



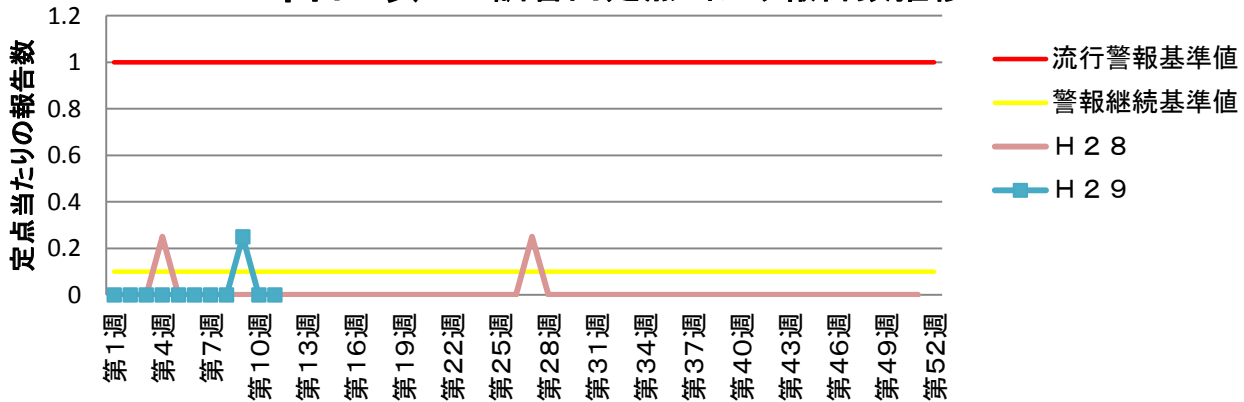
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



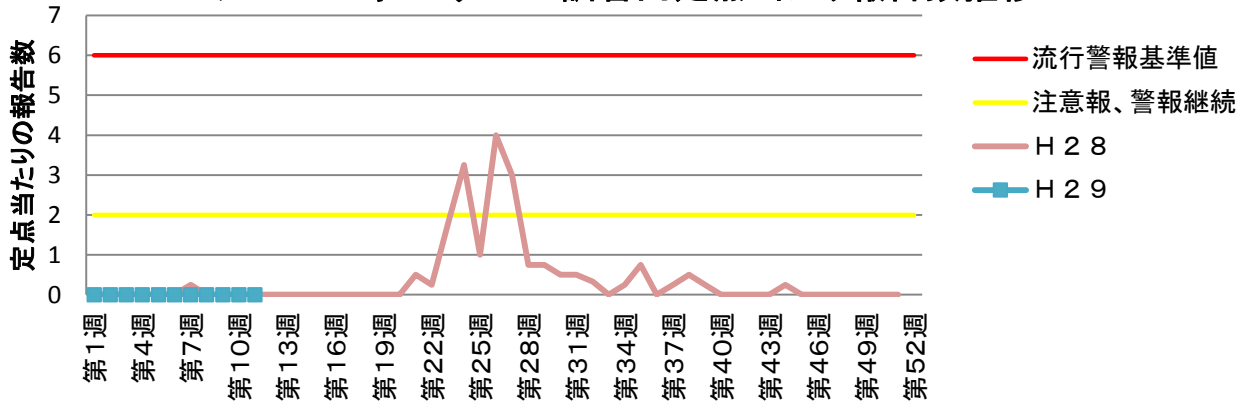
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

